

寸言

株式会社ジャムコ
取締役 常務執行役員
経営企画部長 CRO

粕谷 寿久



技術のジャムコ、『士魂』の気概。真の『レジリエンス』を目指して。

1955年に小型航空機の整備専門会社として誕生して以来、当社は「技術のジャムコは、士魂の気概をもって」の理念のもとに、『航空機内装品製造』、『航空機シート製造』、『航空機器製造』、『航空機整備』の4つの事業を柱として、それぞれの領域・分野で“No1”を目指し、皆さまの快適な空の旅のお手伝いをいたしております。特に内装品製造事業においては、世界で生産される中大型機向けギャレーのおよそ40%、同ラバトリーのおよそ50%がジャムコ製であり（当社調べ）、787型機をはじめボーイング社のワイドボディ機に搭載されるラバトリーはすべて当社が製造しています。

一方、昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大により、渡航制限や海外各国のロックダウン等で航空旅客需要は急激に蒸発しました。これにより、エアラインは新機材導入の一部延期やキャンセルを余儀なくされ、航空機メーカーは大幅な減産に転じるなど、当社の経営環境は甚大なる影響を受けました。

しかし、このようなコロナ禍も好機と捉え、現在当社では、コロナ禍を乗り越え、将来の航空市場の回復に備えるため、あらゆる施策に取り組んでいます。海外生産拠点整理や国内生産拠点の統合、一時的な人員削減や投資抑制などの需要急減に即した規模の適正化に加え、開発・生産プロセスの改革、品質プロセスの更なる改善、DX戦略の構築など、全社レベルの業務プロセス改革を推進することにより、高効率な企業体質に素早く進化し、品質と収益性の向上を目指しています。

また、昨年度期初からは「コロナ禍に苦し

む航空業界に対して、技術のジャムコとして何かできることがないか？」との思いから「Project Blue Sky」というプロジェクト名のもと、グループ全体で企画や提案を進めています。「Project Blue Sky」においては、お客様が安心してご利用頂けるよう手を触れずに開閉できるラバトリー用ドアハンドルなどの感染症対策製品の開発を全日本空輸株式会社（ANA）様と共同で行い、製品化して機体へ搭載する予定です。また、航空機改修・認証技術力に優れたアメリカとシンガポールのグループ会社を中心となり、旅客機の客室を一時的に貨物が積めるようにする機体改修を提案し、シンガポールエアラインから改修工事を受注しました。ボーイング 777-300ER型機の座席を取り外し、貨物搭載量を87トンまで約12%増加させるもので、シンガポール航空局のSTC（追加型式証明）を取得し、受注から僅か1カ月後の2020年11月に初号機の運用を実現しました。

当社の経営の基本理念は、「技術のジャムコは『士魂』の気概で」という言葉で始まります。士魂は武士の魂と書きますが、その意味する処は、武士に二言はないと言うが如く、誠実で約束やルールを守るというビジネスの行動規範です。厳しい逆風のなかにあっても、技術力を基に快適で安全な空の旅をお手伝いするという約束を忘れることなく、当社がやるべきことを着実に遂行し、より筋肉質な企業体質、すなわち真のレジリエンスを獲得していきたいと思っております。今後とも皆さまのご指導、ご協力をお願い申し上げます。